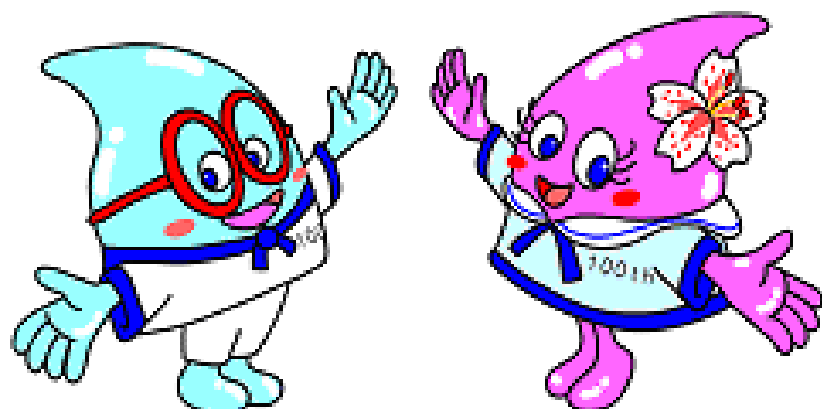


平成 2 8 年度
佐世保市水道局事業概要



佐世保市水道局

平成 28 年度佐世保市水道局事業概要（目次）

	頁
1 水道	
1 1 事業沿革	1
1 2 平成 28 年度事業概況	3
1 3 平成 28 年度主な出来事	6
1 4 資料編	
1 4 1 事業部編	
1 4 1 1 水道	7
1 4 1 2 簡易水道	13
1 4 1 3 水質	16
1 4 2 経営管理部編	
1 4 2 1 料金	17
1 4 2 2 財政	18
1 4 3 水道事業業務実績	23
2 下水道	
2 1 事業沿革	24
2 2 平成 28 年度事業概況	26
2 3 平成 28 年度主な出来事	28
2 4 資料編	
2 4 1 事業部編	
2 4 1 1 下水道	29
2 4 1 2 再生水	32
2 4 1 3 水質	34
2 4 2 経営管理部編	
2 4 2 1 使用料及び負担金	35
2 4 2 2 財政	37
2 4 3 下水道事業業務実績	42
3 機構	
3 1 機構図	43
3 2 事務分掌	44

水道

1.1 事業沿革

1 佐世保市水道のあゆみ

① 水道の創設

本市の水道は、明治時代に誕生しました。当時は海軍鎮守府の設置にともない、人口が増加し防疫・防災のため水道水の必要性が大きく増加したことから、明治36年4月旧海軍水道の分与を受け、人力により水の配給を行ったことを始まりとし、明治40年9月に全国10番目の近代水道（鉄管による給水）として給水を開始しました。

② 水道運営の一本化

昭和25年に制定された旧軍港市転換法に基づき軍由来の水道施設が市へ移管されることとなり、軍・市の各々が運営していた水道は市の水道として一本化されることとなりました。

③ 事業経過

佐世保市では創設期から終戦までに1期～4期の拡張事業を行い、終戦後は5期から8期までの拡張事業を完成させ、現在は9期拡張事業を継続しているところです。

事業名	認可年月日	目標	事業概要
創 設	M38.8.11	M41.3	施設拡張・配水管布設
第1期拡張	M41.8.29	M42.3	〃
第2期拡張	M44.5.15	M44.12	〃
第3期拡張	T12.2.5	T15.3	〃
第4期拡張	S9.3.31	S15.5	菰田ダム建設
第5期拡張	S26.12.16	S31.3	川谷ダム建設
第6期拡張	S33.1.21	S36.3	高部地区給水
第7期拡張	S39.12.7	S46.3	下の原ダム建設
第8期拡張	S45.3.31	S48.3	川棚川取水
第8期（追加）	S47.1.10	S50.3	俵ヶ浦半島給水
第9期拡張	S51.1.10	S60.3	石木ダム建設
第9期（追加）	S54.3.22	S60.3	浅子・高島地区給水
第9期（追加）	S56.12.24	S60.3	針尾・江上地区給水
第9期（追加）	H3.4.9	H11.3	中里北地区他給水
第9期（追加）	H8.3.29	H17.3	上柚木地区給水
第9期（追加）	H12.10.25	H29.3	下の原ダム再開発 上小舟・柚木地区給水
第9期（届出）	H17.3.18	H29.3	新港地区給水
第9期（届出）	H17.3.18	H29.3	吉井町水道事業譲受
第9期（届出）	H18.3.28	H29.3	小佐々町水道事業譲受
第9期（届出）	H19.3.23	H29.3	菰田地区給水
第9期（届出）	H22.3.26	H29.3	江迎町水道事業譲受
第9期（届出）	H23.1.27	H29.3	浄水方法の変更
第9期（追加）	H26.5.2	H36.3	給水区域の拡張等

1.1 事業沿革

④ 佐世保市上下水道ビジョン

平成20年4月に水道事業及び下水道事業のマスタープランとなる「佐世保市上下水道ビジョン」を策定しました。これは、国のビジョンや本市の第6次総合計画を踏まえて基本理念を示しています。

基本理念

「信頼される水道及び下水道を次の100年へ」

佐世保市上下水道ビジョンのうち水道事業に関して、基本理念を元に基本方針を示しております。

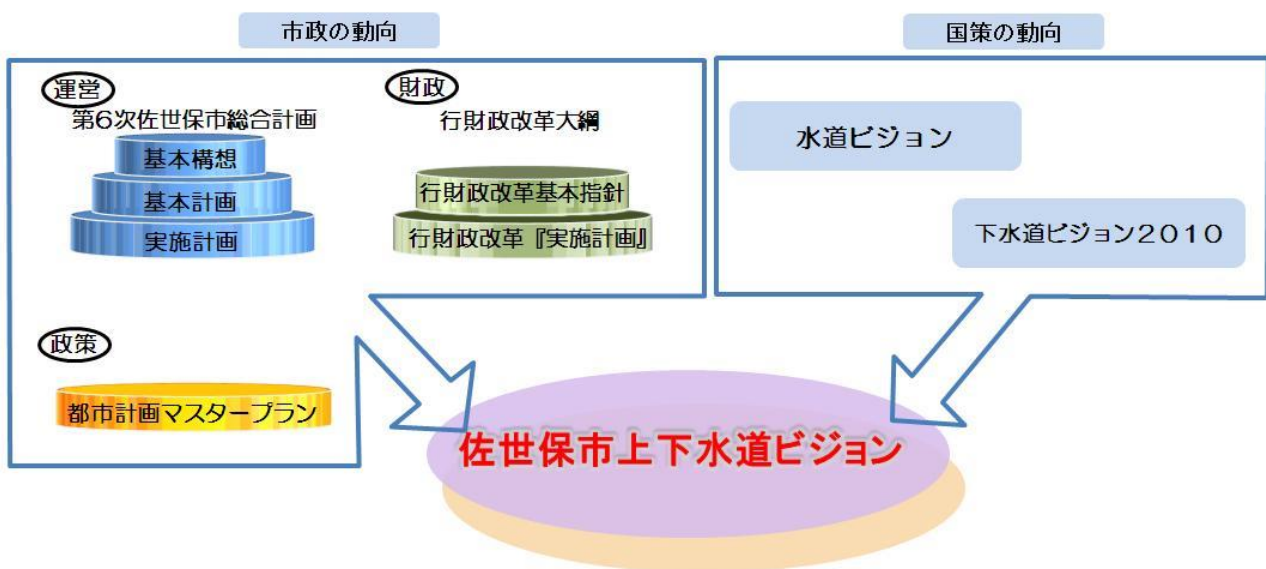
基本方針

「安全で安心な水づくり」

「快適で安定した水づくり」

「環境に配慮した水づくり」

佐世保市水道局では、上記を基本理念として掲げ、基本方針を基に現実の問題・課題に対応しております。



限られた予算を有効に活用するため、水道事業の根幹をなす「水の安定供給」につながる施策を集中的に進めることを基本姿勢とし、毎年度見直しを行う実施計画（アクションプラン）に基づき、PDCA サイクルによる着実かつ効率的な事業推進を図ることとしています。



1.2 平成28年度事業概況



本年度も、「安全で安心な水づくり」「快適で安定した水づくり」「環境に配慮した水づくり」の基本方針をふまえて、水道施設の維持管理・改良整備及び更新等を実施しました。

主な事業概況は次のとおりです。

1 給水状況

年間総配水量は、29,326,317 m³で、前年度 29,266,792 m³と比べ 59,525 m³ (0.2%) 増加しました。

また、有収水量については、24,999,802 m³で、前年度 24,850,572 m³と比べ 149,230 m³ (0.6%) 増加しました。

2 平成28年度主要事業

① 水道施設整備事業

- ・管路の漏水防止対策のため送配水管（宮田町周辺配水本管布設工事）等の老朽管（延長6,102m）を布設替えしました。また、水の安定供給のため、導水管（吉福導水管吉福町527付近布設工事）等の布設替えを行いました。（水道施設再構築事業）



【吉福導水管布設工事】



【宮田町周辺配水本管布設工事】

- ・老朽化したポンプ所の設備更新や、浄水場(江迎)の薬品注入設備の更新を行いました。（改良事業）



【棚方ポンプ所（電気・ポンプ設備）更新工事】



【江迎浄水場薬品注入施設整備工事】

- ・宇久地区、世知原地区などにおいて送配水管布設（延長1,344m）などを行いました。（簡易水道事業）



1.2 平成28年度事業概況



② 山の田水系水道施設統合更新事業

山の田浄水場と大野浄水場の統合事業に引き続き継続して実施する事業であり、老朽化に伴う基幹施設の「山の田配水池」の統合更新と基幹管路の「配水本管（山の田浄水場から市役所付近）」の更新事業を実施します。

【事業の概要】

項目	内容
事業名	山の田水系水道施設統合更新事業
事業方式	直営方式
設計期間	平成27年度 ・配水本管及び山の田配水池統合実施設計 ・地質調査 ・測量調査 ・試掘調査
建設期間	山の田配水池更新 平成28年度から平成29年度（予定） 配水本管更新 平成29年度から平成34年度（予定）
配水池容量	山の田配水池 6,750 m ³ ×2 池
配水本管延長	φ400～φ700 約 3,900m

【事業の特徴】

- ・既存施設を供用しながら、段階的に配水池更新を実施
- ・給水区域の見直しによる配水池容量の適正化
- ・安全な水質の確保、耐震性、経済性等を考慮した配水池更新を実施

【平成28年度概況】

平成28年度は、「山の田第一配水池更新工事」、「山の田第一配水池場内配管布設工事」、「山の田第一配水池電気設備更新工事」、「監視設備工事」に着手しました。

平成29年度も引き続き、工事を実施します。



1.2 平成28年度事業概況



③南部地区系基幹管路整備事業

広田浄水場を起点とする配水本管の老朽化に伴う更新事業を、広田浄水場～大塔町にかけて実施します。

【事業の概要】

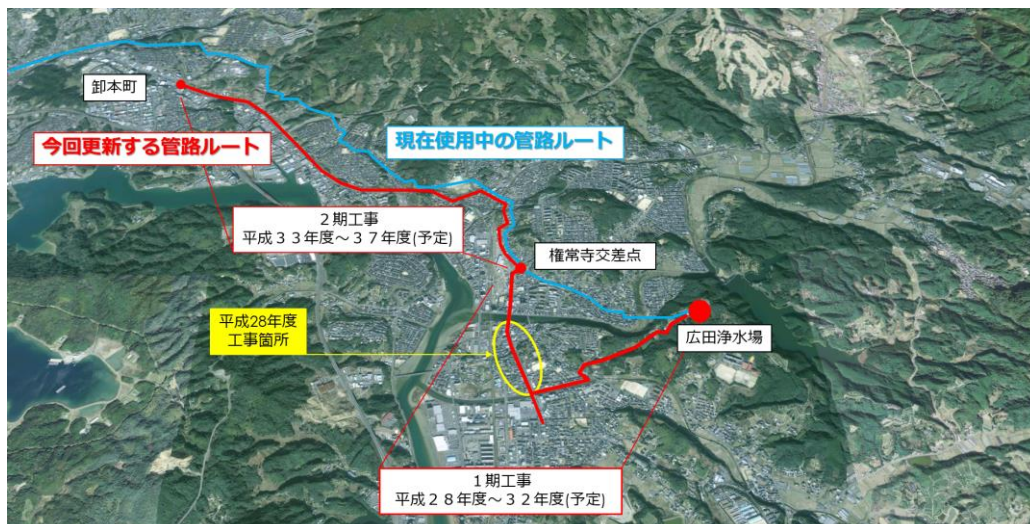
項目	内容
事業名	南部地区系基幹管路整備事業
事業方式	直営方式
設計期間	平成27年度 ・実施計画策定
建設期間	I 期工事：平成28年度から平成32年度（予定） II 期工事：平成33年度から平成37年度（予定）
配水本管延長	I 期工事：φ1000 約1,400m ：φ700 約1,000m II 期工事：φ700 約4,000m

【事業の特徴】

- ・配水本管の布設にあたっては、原則、開削工法にて実施
- ・同一路線に複数埋設してある管路を一本化（合成化）し、輻輳化を解消

【更新概要図】

- ・基幹管路更新概要図



【平成28年度概況】

- ・平成28年度より、I 期工事に着手しました。（配水本管φ700、L≒500m）
- ・平成29年度も引き続き、工事を実施いたします。



1.2 平成28年度事業概況



④ 第9期拡張事業

石木ダム建設関連事業として、県が事業主体として行う調査設計費等の一部を負担しました。

3 経営状況

事業収益は、6,453,660 千円で前年度 6,425,463 千円に比べ、28,197 千円（0.4%）増加しました。これは、主に加入金が 14,750 千円減少したものの、給水収益が 42,186 千円増加したことによるものです。

一方、事業費用は、5,706,638 千円で前年度 5,698,931 千円に比べ、7,707 千円（0.1%）増加しました。これは、主に減価償却費が 31,081 千円、老朽化施設の更新に伴う資産減耗費が 20,406 千円増加したものの、企業債の借入利率の減などにより支払利息及び企業債取扱諸費が 37,169 千円減少したことなどによるものです。

以上の結果、平成 28 年度の収支差引は 747,022 千円の純利益となりました。



1.3 平成28年度主な出来事



・ 4 月～ 5 月

4 月 14 日に発生しました熊本地震により、日本水道協会を通じて、被災地から応援給水の要請がありました。

佐世保市水道局では、4 月 15 日から 5 月 3 日の間、合計 39 名の職員を派遣し、熊本市内の断水地域において、給水支援活動に従事しました。



（写真は出発式の様子）

資料編



1.4.1.1 資料編(事業部編・水道)



1 取水施設

① 認可施設

地 区	名 称	水源・水系名河川名等	種別	取水能力（許可取水量等）	
				m ³ /s	m ³ /d
佐世保	山の田	佐世保川水系 佐世保川	表流水（ダム）	0.073	6,300
	転 石	相浦川水系 久保仁田川	表流水（ダム）	0.031	2,700
	菰 田	相浦川水系 小川内川	表流水（ダム）	0.146	12,600
	相 当	相浦川水系 牟田川	表流水（ダム）	0.066	5,700
	川 谷	相浦川水系 相浦川	表流水（ダム）	0.154	13,300
	相浦川	相浦川水系 相浦川	表 流 水	0.052	4,500
	下の原	小森川水系 鷹の巣川	表流水（ダム）	0.171	14,800
	川 棚	川棚川水系 川棚川	表 流 水	0.173	15,000
	小森川	小森川水系 小森川	表 流 水	0.024	2,100
	小 計			0.890	77,000

吉井	御 橋	佐々川御橋水源	表 流 水	0.0167	1,440
	踊 瀬	踊瀬ダム 吉元川	表 流 水	0.0139	1,200
		踊瀬川 水源	表 流 水	0.0046	400
	小 計			0.0352	3,040

小佐々	つづら	小佐々川水系 つづら川	表 流 水	0.0286	2,470
	鎌 投	鎌 投 ・ 深 井 戸	地 下 水	0.0104	900
	平 原	平 原 ・ 深 井 戸	地 下 水	0.0017	150
	楠 泊	祝ヶ浦・大野川・楠泊貯水池	表 流 水	0.0056	480
	小 計			0.0463	4,000

江迎	潜 竜	第2水源 江迎川	表 流 水	0.0081	700
		第3水源 潜竜浄水場内	地 下 水	0.0068	590
	猪 調	第4水源 深井戸	地 下 水	0.0017	150
	中 尾	第1水源 嘉例川	表 流 水	0.012	990
	小 計			0.0286	2,430

合 計				1.0001	86,470
-----	--	--	--	--------	--------



1.4.1.1 資料編(事業部編・水道)



② 認可外施設

区 分	名 称	水源・水系名河川名等	種別	施設能力 m ³ /日	備 考
暫 定	川棚（暫定豊水）	川棚川水系 川棚川	表 流 水	5,000	暫定豊水水利

※暫定豊水水利：石木ダムが完成するまでの間、河川水が豊かな場合に限り暫定的に取水することができる水利権。

予 備	四 条 橋	相浦川水系 相浦川	表 流 水	18,000	慣行水利
	三 本 木	相浦川水系 相浦川	表 流 水	4,500	慣行水利
	岡 本	湧 水	湧 水	1,000	

※慣行水利：河川法が施行される明治 29 年以前から、社会的な承認の下に取水を行っていた事実について既得権として認められた水利権

岡本貯水池

岡本貯水池は日清戦争後、旧海軍によって農業用のため池を改造してつくられました。

第 2 貯水池は、当時では珍しい円形の貯水池であり、海軍が高度な技術を擁していたことを窺い知ることができる大変貴重な施設です。現在は白仁田簡易水道、十文野専用水道、野中専用水道の水源となっているほか、佐世保市の水道水にも使用しています。



岡本水源地全景



第 1 貯水池取水塔



第 2 貯水池



第 2 貯水池建設の様子（明治 33 年ごろ）



1.4.1.1 資料編(事業部編・水道)



2 貯水施設

豊水時の水を貯留し、降水量の変動を吸収して、取水の安定を図る水道施設です。

地 区	名称	外観	施設能力等	地 区	名称	外観	施設能力等
佐世保 北部	山の田		有効貯水量 551,000 m ³ 許可取水量 0.073 m ³ /s (6,300 m ³ /日)	佐世保 南部	下の原		有効貯水量 2,182,000 m ³ 許可取水量 0.171 m ³ /s (14,800 m ³ /日)
	転石		有効貯水量 233,000 m ³ 許可取水量 0.031 m ³ /s (2,700 m ³ /日)	吉 井	踊瀬		有効貯水量 48,000 m ³ 許可取水量 0.0139 m ³ /s (1,200 m ³ /日)
	菰田		有効貯水量 1,462,000 m ³ 許可取水量 0.146 m ³ /s (12,600 m ³ /日)	小佐々	つつら		有効貯水量 86,000 m ³ 許可取水量 0.0286 m ³ /s (2,470 m ³ /日)
	相当		有効貯水量 400,000 m ³ 許可取水量 0.066 m ³ /s (5,700 m ³ /日)		楠泊		有効貯水量 7,000 m ³ 計画取水量 0.0056 m ³ /s (480 m ³ /日)
	川谷		有効貯水量 1,610,000 m ³ ※1 許可取水量 0.154 m ³ /s (13,300 m ³ /日)				

※1 川谷ダムは5月1日～9月30日の洪水警戒時の間、貯水容量 1,350,000 m³となります。



1.4.1.1 資料編(事業部編・水道)



3 導水施設（導水管）

取水施設を経た水を浄水場まで導く施設です。

(単位：m)

口径 管轄	φ50	φ65	φ75	φ100	φ125	φ150	φ200	φ250	φ300
佐世保地区	0	0	0	310	0	2,044	2,231	0	8,340
吉井地区	0	0	0	380	270	0	114	222	0
小佐々地区	159	0	3,614	998	0	2,229	2,316	296	104
江迎地区	0	0	2,097	119	0	0	492	0	0

口径 管轄	φ350	φ400	φ450	φ500	φ600	φ700	φ800	合計
佐世保地区	7,810	850	9,573	19,629	6,366	3,500	990	61,643
吉井地区	0	0	0	0	0	0	0	986
小佐々地区	0	0	0	0	0	0	0	9,716
江迎地区	0	0	0	0	0	0	0	2,708

4 浄水施設

水源から送られた原水を飲用に適するよう処理する施設です。

地 区	名称	外観	ろ過方式	地 区	名称	外観	ろ過方式
佐世保 北部	山の田		膜ろ過 公称能力 50,600 m ³ /日	吉 井	御橋		急速 公称能力 1,440 m ³ /日
	柚木		急速 公称能力 14,000 m ³ /日		踊瀬		緩速 公称能力 1,200 m ³ /日
佐世保 南部	広田		急速 公称能力 36,000 m ³ /日				



1.4.1.1 資料編(事業部編・水道)



地 区	名称	外観	ろ過方式	地 区	名称	外観	ろ過方式
小佐々	田原		急速 公称能力 3,520 m ³ /日	江迎	江迎		急速 公称能力 900 m ³ /日
	楠泊		緩速 公称能力 480 m ³ /日		潜竜		緩速 公称能力 2,100 m ³ /日

5 送・配水施設

各浄水施設において飲用に適するように作られた浄水を使用者の皆様へお送りする施設です。

① 送水管路

(単位：m)

口径 管轄	φ50	φ75	φ100	φ125	φ150	φ200	φ250	φ300
佐世保地区	10,077	24,784	9,691	0	20,830	6,085	9,320	6,607
吉井地区	5,792	5,267	3,785	0	1,263	274	0	0
小佐々地区	4,582	648	2,085	512	388	5,202	808	0
江迎地区	3,635	6,021	378	0	350	40	0	0

口径 管轄	φ350	φ400	φ450	φ500	φ600	φ700	φ800	合計
佐世保地区	19,113	1,296	305	82	28	0	0	108,218
吉井地区	0	0	0	0	0	0	0	16,381
小佐々地区	0	0	0	0	0	0	0	14,225
江迎地区	0	0	0	0	0	0	0	10,424



1.4.1.1 資料編(事業部編・水道)



② 配水管路

(単位：m)

口径 管轄	φ50	φ75	φ100	φ125	φ150	φ200	φ250	φ300
佐世保地区	241,246	103,957	213,553	0	261,066	85,925	55,510	20,670
吉井地区	19,654	29,678	8,940	0	6,144	2,598	644	0
小佐々地区	11,004	23,424	12,756	6	8,991	4,762	505	0
江迎地区	16,575	26,234	18,257	0	14,247	2,317	0	0

口径 管轄	φ350	φ400	φ450	φ500	φ600	φ700	φ800	合計
佐世保地区	30,091	13,063	11,458	8,210	8,548	7,157	7,440	1,067,894
吉井地区	219	0	0	0	0	0	0	67,877
小佐々地区	0	0	0	0	0	0	0	61,448
江迎地区	0	0	0	0	0	0	0	77,630

③ 送・配水施設

地 区	ポンプ所箇所数	配水池箇所数
佐世保地区	75 箇所	124 箇所
吉井地区	17 箇所	13 箇所
小佐々地区	19 箇所	16 箇所
江迎地区	12 箇所	13 箇所



1.4.1.2 資料編(事業部編・簡易水道)



本市は、山からすぐ海に臨んでおり、平坦地に乏しく、地形的に給水条件の困難箇所があります。
したがって、給水困難な農山村については簡易水道事業及び飲料水供給施設事業により水道水の供給が行われています。

1 簡易水道事業

本市は、下記の地区を簡易水道事業として運営しています。

① 佐世保地区

No	名称	一日最大給水量	No	名称	一日最大給水量
		実績 (H28年度)			実績 (H28年度)
1	白仁田簡易水道	47m ³	7	東下岳簡易水道	12m ³
2	黒島本村地区簡易水道	32m ³	8	平松簡易水道	53m ³
3	田代簡易水道	31m ³	9	潜木・戸平田地区簡易水道	63m ³
4	上原・桑木場地区簡易水道	25m ³	10	下宇戸・川谷地区簡易水道	33m ³
5	赤木簡易水道	79m ³	11	筒井・西下岳地区簡易水道	91m ³
6	上木場簡易水道	74m ³	12	弓張・高筈地区簡易水道	66m ³

② 世知原地区

No	名称	一日最大給水量
		実績(H28年度)
1	世知原地区簡易水道	1,271m ³
2	上野原地区簡易水道	111m ³

③ 宇久地区

No	名称	一日最大給水量
		実績(H28年度)
1	平地区簡易水道	963m ³
2	神浦地区簡易水道	486m ³
3	北部地区簡易水道	400m ³

④ 小佐々地区

No	名称	一日最大給水量
		実績(H28年度)
1	矢岳地区簡易水道	260m ³

⑤ 鹿町地区

No	名称	一日最大給水量
		実績(H28年度)
1	鹿町北部地区簡易水道	1,237m ³
2	船ノ村地区簡易水道	86m ³
3	歌ヶ浦地区簡易水道	1,313m ³
4	神林地区簡易水道	355m ³



1.4.1.2 資料編(事業部編・簡易水道)



管路延長及び送・配水施設は次のとおりです。

No	地 区	簡易水道延長	ポンプ所箇所数	配水池箇所数
1	佐世保地区	71,663m	17 箇所	34 箇所
2	世知原地区	87,959m	25 箇所	19 箇所
3	宇久地区	78,704m	13 箇所	14 箇所
4	小佐々地区	6,002m	0 箇所	1 箇所
5	鹿町地区	90,730m	19 箇所	17 箇所

2 飲料水供給施設事業

本市は、下記の地区を飲料水供給施設事業として運営しています。

No	名称	一日最大給水量
		実績(H28年度)
1	上開作飲料水供給施設	23m ³
2	下開作飲料水供給施設	32m ³

【用語説明】

本資料中（水道）の用語の意味を記載しております。

用語	内 容
人 口	佐世保市内の住民基本台帳の人口。
給 水 人 口	給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口をいう。 ただし、給水区域外からの通勤者や観光客は給水人口に含まれない。
普 及 率	人口に対する給水人口の割合。 普及率＝給水人口÷給水区域内人口
給 水 戸 数	給水契約の対象となっている戸数。
総 給 水 量	給水区域に対して給水した実績水量をいう。
有 収 水 量	料金徴収の基礎となった水量。
一 日 平 均 給 水 量	総給水量を365日（うるう年は366日）で除したもの。
有 収 率	総給水量に対する有収水量の割合。 有収率＝有収水量÷総給水量
配 水 管	配水本管と配水支管からなる。配水本管は、配水支管へ浄水を輸送する役割をもち、配水支管は、本管から受けた浄水を給水管に分岐する役割をもつ。
職 員 数	水道事業に係る職員の数をいう。
供 給 単 価	有収水量1 m ³ あたりの収益（収入）をいう。
給 水 原 価	有収水量1 m ³ あたりの費用（支出）をいう。
有 効 無 収 水 量	使用上無効と見られる水量のこと。無収水量ともいう。
有 効 水 量	総給水量のうち、漏水等を除いて有効に利用された水量。
有 効 率	総給水量に対する有効水量の割合。 有効率＝有効水量÷総給水量
漏 水 量	配水本支管及び水道メーター上流の給水管から漏れている水のこと。

簡 易 水 道 事 業	計画給水人口が 5,000 人以下である水道によって水を供給する水道事業をいう。 (水道法 3 条 3 項)
飲 料 水 供 給 施 設	給水人口が 100 人以下の地域において、人の飲用に供する水を供給する施設等の 総体をいう。計画給水人口が 100 人以下であるため、水道法に基づく水道事業に は該当しない。主に他の水道給水区域と離れているなど、他の水道に接続してい ないため、その区域のみに水道を供給する必要がある場合に設置される。

参考文献 日本水道協会編「水道用語辞典 第二版」



1.4.1.3 資料編(事業部編・水質)



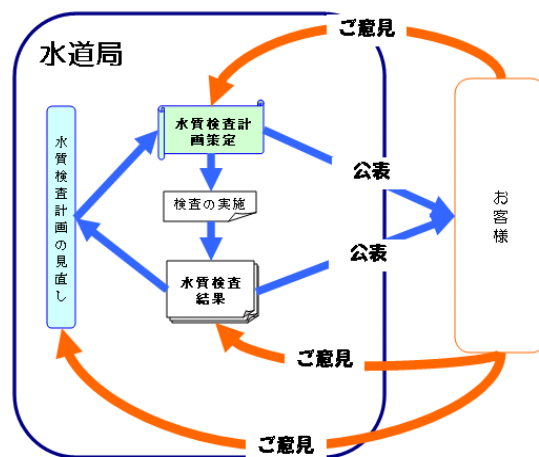
水道水の水質は、水道法に定められた水質基準を満たしていなければなりません。水道局では、皆さんに安全な水道水を提供するため水質検査計画を策定し、様々な検査を行っています。

(基本方針)

- ① 水質検査は、浄水場の系統を代表する給水栓(蛇口)、浄水場の入口である貯水池・河川水などの原水で行っています。
- ② 水質検査は、水道法で義務づけられている項目(51 項目)および水質管理上必要と判断される項目について行っています。
- ③ 検査頻度は、水源の種類、検査項目のこれまでの状況などを考慮して定めています。
- ④ 佐世保地区・吉井地区・小佐々地区・江迎地区・鹿町地区・簡易水道の一部(白仁田、黒島)については、検査機器の整備上、自己検査(25 項目)と検査機関委託(厚生労働大臣の登録を受けた検査機関)(26 項目)に分けて行っています。世知原地区・宇久地区、簡易水道(10 か所)については全項目を検査機関に委託し、水道水の安全性の確保に努めています。

(水質検査計画の策定・公表)

水質検査計画は毎年度、水質などの状況に応じて策定し、ホームページで公表しています。(策定の際には、市民の皆さんの意見を募集します。)



(平成28年度の水質検査概要)

水道局では、水道法に基づき、水質検査を行っています。

詳細な水質検査結果についてはホームページにて公表しています。検査概要は、以下の通りです。

- ① 毎月検査：おおむね1か月に1回以上行う項目検査(水質基準の基本的項目等 11 項目)
- ② 4回/1 年検査：おおむね3か月に1回以上行う項目検査(22 項目)
- ③ 1 回/1 年検査、1 回/3 年検査：一定の条件を満たし、省略が可能とされる項目検査(18 項目)

※平成28年度の水道水定期水質検査を行った項目について、水道水質基準を超過した項目はありませんでした。

その他の検査として

毎日検査：色、濁り、残留塩素(佐世保市内 122 か所)などを行っています。



1.4.2.1 資料編(経営管理部編・料金)



1 水道料金表（2か月料金）

※下記料金表により算出した額に別途消費税等を加算

用途別	基本料金		超過料金(1 m ³ につき)	
	基本水量	金額	水量	金額
一般	20 m ³ まで	2,968 円	20 m ³ を超え 40 m ³ まで	233 円
	ただし、 使用水量が 10 m ³ 以下の場合は、 1,728 円となります。		40 m ³ を超え 100 m ³ まで	253 円
			100 m ³ を超え 200 m ³ まで	273 円
			200 m ³ を超え 400 m ³ まで	302 円
			400 m ³ を超え 1,000 m ³ まで	305 円
			1,000 m ³ を超え 2,000 m ³ まで	309 円
			2,000 m ³ を超えるもの	312 円
公衆浴場	200 m ³ まで	7,846 円	200 m ³ を超えるもの	60 円
私設消火栓	演習 1 回 (10 分間以内)につき	2,935 円		

算出方法（例）2 か月で 50 m³使用した場合（消費税込み）

$$\left(\underbrace{2,968 \text{ 円}}_{(20 \text{ m}^3 \text{までの基本料金})} + \underbrace{(20 \text{ m}^3 \times 233 \text{ 円}) + (10 \text{ m}^3 \times 253 \text{ 円})}_{(超過料金)} \right) \times 1.08 = 10,970 \text{ 円}$$

(消費税の加算)

2 水道料金収入状況（税抜き）

（単位：円）

区 分	平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度決算
一 般	5,594,652,590	5,574,342,122	5,616,535,929
公 衆 浴 場	399,912	384,700	376,416
私 設 消 火 栓	5,870	5,870	5,870
合 計	5,595,058,372	5,574,732,692	5,616,918,215



1.4.2.2 資料編(経営管理部編・財政)



佐世保市水道事業損益計算書（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）

当年度事業の経営成績を表したものが損益計算書です。経営成績とは、結果として一年間にどのくらい利益を出したのか、損失が生じたのかを表現しています。

水道事業収益（営業収益＋営業外収益＋特別利益）－水道事業費用（営業費用＋営業外費用＋特別損失）
＝利益（黒字）または 損失（赤字）

1	営業収益	円	円	円
	(1) 給水収益	5,616,918,215		
	(2) 加入金	38,680,000		
	(3) 受託工事収益	2,661,560		
	(4) その他営業収益	68,639,017	5,726,898,792	
2	営業費用	円	円	円
	(1) 原水費	228,352,949		
	(2) 浄水費	729,221,735		
	(3) 配給水費	1,207,899,819		
	(4) 受託工事費	2,661,560		
	(5) 業務費	337,745,810		
	(6) 総係費	377,350,654		
	(7) 減価償却費	2,124,247,668		
	(8) 資産減耗費	84,786,274	5,092,266,469	
	営業利益			634,632,323
3	営業外収益	円	円	円
	(1) 受取利息及び配当金	461,667		
	(2) 他会計補助金	45,158,889		
	(3) 長期前受金戻入	601,830,793		
	(4) 雑収益	64,018,366	711,469,715	
4	営業外費用	円	円	円
	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	578,839,370		
	(2) 雑支出	32,707,309	611,546,679	99,923,036
	経常利益			734,555,359
5	特別利益	円	円	円
	(1) 過年度損益修正益	11,641		
	(2) その他特別利益	15,280,046	15,291,687	



1.4.2.2 資料編(経営管理部編・財政)



6	特別損失	円	円	円
	(1) 過年度損益修正損	2, 825, 127	2, 825, 127	12, 466, 560
	当年度純利益			747, 021, 919
	前年度繰越利益剰余金			0
	その他未処分利益剰余金変動額			726, 532, 546
	当年度未処分利益剰余金			1, 473, 554, 465



1.4.2.2 資料編(経営管理部編・財政)



佐世保市水道事業損益計算書（平成26年度～平成28年度）

	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	金額（円）	構成 比率 （%）	金額（円）	構成 比率 （%）	金額（円）	構成 比率 （%）
水道事業収益	7,025,943,852	100.0	6,425,463,208	100.0	6,453,660,194	100.0
営業収益	5,697,636,021	81.1	5,690,639,596	88.6	5,726,898,792	88.7
給水収益	5,595,058,372	79.7	5,574,732,692	86.8	5,616,918,215	87.0
加入金	37,800,000	0.5	53,430,000	0.8	38,680,000	0.6
受託工事収益	6,339,529	0.1	3,521,210	0.1	2,661,560	0.0
その他営業収益	58,438,120	0.8	58,955,694	0.9	68,639,017	1.1
営業外収益	867,212,130	12.3	710,932,791	11.0	711,469,715	11.0
受取利息及び配当金	1,583,681	0.0	1,043,652	0.0	461,667	0.0
他会計補助金	247,142,430	3.5	53,953,431	0.8	45,158,889	0.7
国庫補助金	2,564,000	0.0	—	—	—	—
長期前受金戻入	547,585,188	7.8	606,455,724	9.4	601,830,793	9.3
雑収益	68,336,831	1.0	49,479,984	0.8	64,018,366	1.0
特別利益	461,095,701	6.6	23,890,821	0.4	15,291,687	0.3
水道事業費用	7,030,364,275	100.0	5,698,930,662	100.0	5,706,638,275	100.0
営業費用	4,670,774,257	66.4	5,061,267,060	88.8	5,092,266,469	89.2
原水費	220,448,055	3.1	217,430,776	3.8	228,352,949	4.0
浄水費	728,232,679	10.4	727,098,159	12.8	729,221,735	12.8
配給水費	1,183,518,763	16.8	1,214,262,317	21.3	1,207,899,819	21.2
受託工事費	6,339,529	0.1	3,521,210	0.1	2,661,560	0.0
業務費	342,599,116	4.9	349,921,024	6.1	337,745,810	5.9
総係費	284,436,880	4.0	391,486,910	6.9	377,350,654	6.6
減価償却費	1,823,235,505	25.9	2,093,166,196	36.7	2,124,247,668	37.2
資産減耗費	81,963,730	1.2	64,380,468	1.1	84,786,274	1.5
営業外費用	686,257,593	9.8	636,513,511	11.2	611,546,679	10.7
支払利息及び企業債取扱諸費	637,331,073	9.1	616,008,636	10.8	578,839,370	10.1
雑支出	48,926,520	0.7	20,504,875	0.4	32,707,309	0.6
特別損失	1,673,332,425	23.8	1,150,091	0.0	2,825,127	0.1
当年度純利益（△純損失）	△4,420,423		726,532,546		747,021,919	



1.4.2.2 資料編(経営管理部編・財政)



佐世保市水道事業貸借対照表（平成29年3月31日）

事業の財政状態（資金の外部調達（負債・資本）と、調達した資金の投資・運用状況（資産））を表す表です。

資 産 の 部		
1 固定資産	円	円
（1）有形固定資産	60,873,294,160	
（2）無形固定資産	511,950,355	
（3）投資その他の資産	267,000,000	
固定資産合計		61,652,244,515
2 流動資産	円	円
（1）現金預金	4,931,959,219	
（2）未収金	384,218,219	
（3）有価証券	600,000	
（4）貯蔵品	32,377,124	
流動資産合計		5,349,154,562
資産合計（1＋2）		67,001,399,077
負 債 の 部		
3 固定負債	円	円
（1）企業債	25,949,746,770	
（2）他会計借入金	280,000,000	
（3）リース債務	53,702	
（4）引当金	1,106,370,141	
固定負債合計		27,336,170,613
4 流動負債	円	円
（1）企業債	1,692,285,864	
（2）他会計借入金	40,000,000	
（3）リース債務	244,055	
（4）未払金	885,714,882	
（5）引当金	275,958,462	
（6）その他流動負債	17,017,469	
流動負債合計		2,911,220,732
5 繰延収益	円	円
（1）長期前受金	23,349,798,581	
収益化累計額	△10,884,661,550	
繰延収益合計		12,465,137,031
負債合計（3＋4＋5）		42,712,528,376



1.4.2.2 資料編(経営管理部編・財政)



資 本 の 部		
6 資本金	円	円
(1) 資本金	20,770,388,339	
資本金合計		20,770,388,339
7 剰余金	円	円
(1) 資本剰余金	2,044,927,897	
(2) 利益剰余金	1,473,554,465	
剰余金合計		3,518,482,362
資本合計 (6 + 7)		24,288,870,701
負債資本合計 (3 + 4 + 5 + 6 + 7)		67,001,399,077

資産合計 (67,001,399,077) = 負債資本合計 (67,001,399,077) となることからバランスシートといいます。



1.4.3 水道事業業務実績



1 水道事業業務実績

年度 項目		2 6	2 7	2 8
人	口 (人)	258,132	256,504	254,180
給 水	人 口 (人)	252,909	251,515	249,360
普 及	率 (%)	98.0	98.1	98.1
給 水	戸 数 (戸)	118,889	119,449	119,508
総 給	水 量 (m ³)	28,993,842	29,266,792	29,326,317
有 収	水 量 (m ³)	24,927,305	24,850,572	24,999,802
		24,925,628	24,849,561	24,998,676
(一 般 家 庭 用)	(m ³)	17,336,206	17,306,308	17,390,056
(官 公 署 用)	(m ³)	2,130,258	2,139,142	2,220,625
(学 校 用)	(m ³)	583,352	581,590	582,726
(病 院 用)	(m ³)	786,493	782,232	728,207
(事 務 所 用)	(m ³)	338,163	342,809	339,554
(営 業 用)	(m ³)	2,588,529	2,623,774	2,680,613
(工 場 用)	(m ³)	1,141,011	1,045,751	1,024,119
(そ の 他)	(m ³)	21,616	27,955	32,776
一 日 最 大 給 水 量	(m ³)	88,810	126,251	88,817
一 日 平 均 給 水 量	(m ³)	79,435	79,964	80,346
有 収	率 (%)	86.0	84.9	85.2
配 水 管	延 長 (m)	1,978,650	1,984,017	1,984,123
職 員	数 (人)	172	169	172
供 給	単 価 (円)	224.47	224.34	224.69
給 水	原 価 (円)	192.70	204.74	203.98

※有収水量については、上段は「水道料金の対象となった水量+消防用水量」、下段は「水道料金の対象となった水量」を記載している。

2 配水状況

年度 項目			2 6	2 7	2 8
配 水 量 (千m³)			28,994	29,267	29,326
年間有効水量	有 収 水 量	(千m³)	24,927	24,851	25,000
	%		86.0	84.9	85.2
	有 効 無 収 水 量	(千m³)	711	993	1,001
	%		2.5	3.4	3.4
有 効 率 (%)			88.4	88.3	88.7
無効	漏 水 量 等	(千m³)	3,356	3,423	3,325
水量	%		11.6	11.7	11.3

冰道

2.1 事業沿革

1 佐世保市下水道のあゆみ

① 下水道の創設

本市の下水道事業は、汚水と雨水を分離する分流式の公共下水道として、昭和24年度に認可を受け事業に着手し、昭和36年9月に供用を開始しました。

② 事業経過

本市の公共下水道は、地勢の関係から市の中心部並びに日宇、早岐地区等を含む中部処理区、相浦川流域を主体とした西部処理区、ハウステンボス地区の針尾処理区、江迎川流域を主体とした江迎処理区の4処理区とし、処理区毎に下水処理場を配置して公共下水道の整備を進めています。

また、整備の進捗状況等を勘案し、段階的に整備区域の拡大を図ることとしています。

下水道法事業計画の認可等年月日	計画及び計画変更の概要
昭和24年7月26日	分流式の採用
昭和38年5月28日	処理区域の拡張、計画処理人口の変更等
昭和38年12月9日	終末処理場の計画変更
昭和46年12月13日	処理区域の拡張、計画処理人口の追加等
昭和49年12月12日	処理区の追加
昭和51年8月4日	処理施設内設備、管渠の変更
昭和53年10月6日	処理施設の計画変更
昭和55年7月24日	事業年度の延長、幹線の変更等
昭和57年10月13日	処理地区、施設の追加、排水区の追加
昭和61年3月5日	処理区域の拡張、施設追加
平成1年5月11日	処理区域の拡張、計画処理人口、計画処理能力の変更
平成3年10月8日	処理区域の拡張、処理分区の追加、施設の変更・廃止
平成5年3月22日	汚泥処分法の変更
平成6年11月28日	雨水幹線管渠の変更
平成10年3月27日	処理区域の拡張、処理分区、施設の追加
平成13年8月8日	処理区域の拡張、処理区、施設の追加、再生水利用区域の追加
平成17年6月14日	排水区、施設の追加
平成19年9月18日	全体計画フレーム等の見直し、処理分区、施設の変更追加
平成21年1月30日	雨水幹線の追加及び廃止、排水区、施設の追加
平成22年6月22日	施設、下水放流地点の変更
平成23年3月24日	再生水利用施設の追加、雨水調整池の変更
平成26年2月21日	処理区域の拡張、処理施設の変更・追加、管渠の変更

2.1 事業沿革

③ 佐世保市上下水道ビジョン

平成20年4月に水道事業及び下水道事業のマスタープランとなる「佐世保市上下水道ビジョン」を策定しました。これは、国のビジョンや本市の第6次総合計画を踏まえて基本理念を示しています。

基本理念

「信頼される水道及び下水道を次の100年へ」

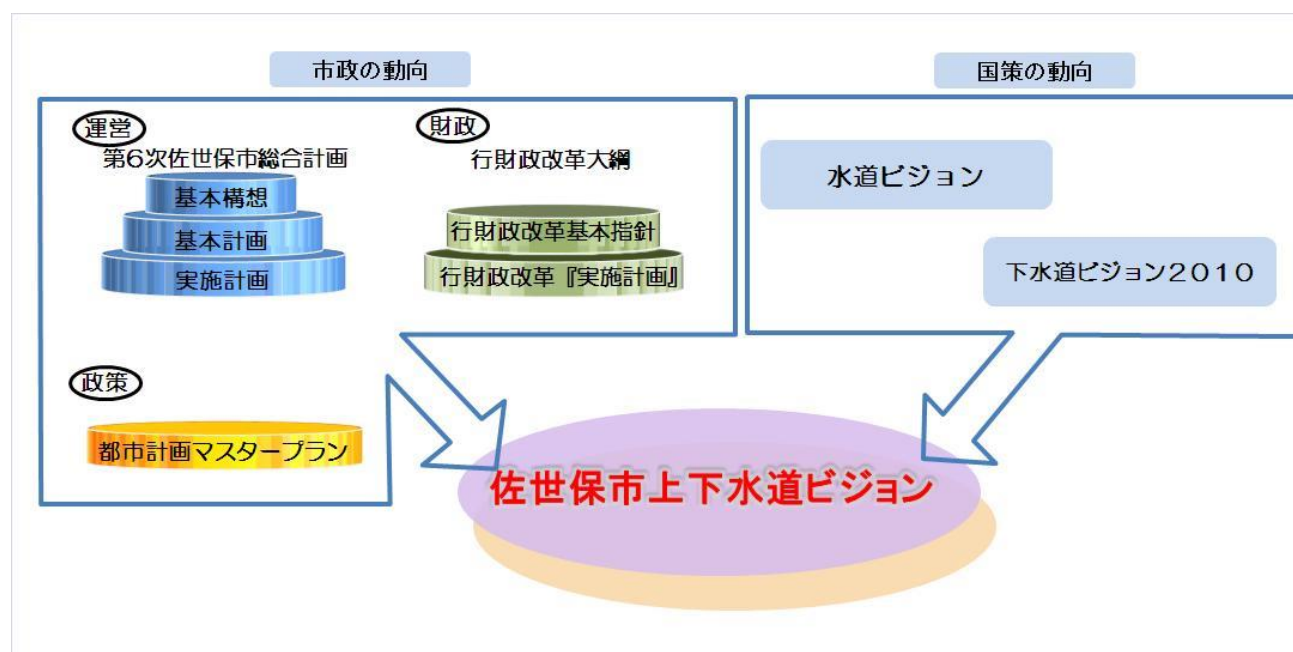
佐世保市上下水道ビジョンのうち下水道事業に関して、基本理念を元に基本方針を示しております。

基本方針

「暮らしを支え、快適な環境をつくる下水道」

「環境に配慮した下水道」

佐世保市水道局では、上記を基本理念として掲げ、基本方針を基に現実の問題・課題に対応しております。



限られた予算を有効に活用するため、下水道事業の根幹をなす「下水の安定処理」につながる施策を集中的に進めることを基本姿勢とし、毎年度見直しを行う実施計画（アクションプラン）に基づき、PDCA サイクルによる着実かつ効率的な事業推進を図ることとしています。

2.2 平成 28 年度事業概況

本年度も、「暮らしを支え、快適な環境をつくる下水道」「環境に配慮した下水道」の基本方針をふまえて、下水道の普及拡大及び老朽化施設の改築・更新等を実施しました。主な事業概況は次のとおりです。

1 排水状況

有収排水量は、13,985,493 m³で、前年度 13,531,106 m³と比べ 454,387 m³（3.4%）増加しました。

2 下水道普及促進

次のとおり各処理区において管渠を布設しました。

① 補助事業

・中部処理区（有福・広田・早岐・船越地区）	延長2,159m
・西部処理区（相浦・新田・日野地区）	延長1,488m
・江迎処理区	延長 88m

② 単独事業

・中部処理区	延長1,503m
・西部処理区	延長2,552m
・江迎処理区	延長 113m



【開削工法による工事】



【推進工法による工事】



2.2 平成28年度事業概況



③ 老朽化施設の更新、機能向上

中部下水処理場において、1,2系水処理の返送・余剰汚泥ポンプ設備及び用水設備の更新が完了しました。



【1,2系 返送・余剰汚泥ポンプ設備】



【1,2系 用水設備】

3 水洗便所改造等融資資金利子補給制度)

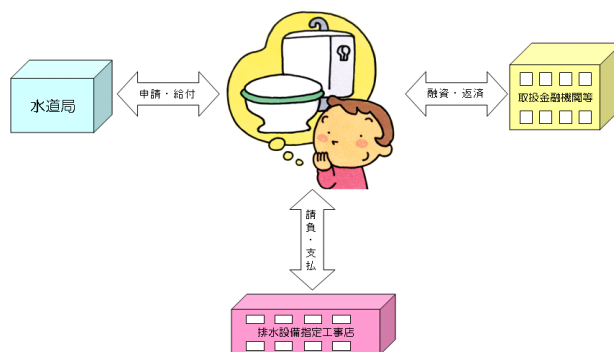
※平成 22 年度から、水洗便所改造等に係る融資資金の利子補給制度を実施しております。

【水洗便所改造等融資資金にかかる利子補給制度概要・イメージ図】

水洗便所改造等融資資金にかかる利子補給制度

(H22.4.1以降)

公共下水道の処理区域内において、既設の便所を水洗便所に改造するために要する費用を水道局の取扱金融機関等から融資を受け、その融資金を完済した場合、支払利息を補給する制度です。



2.2 平成28 年度事業概況

4 経営状況

事業収益は、4,651,595 千円で前年度 4,659,276 千円に比べ、7,681 千円（0.2%）減少しました。これは、処理区域拡大に伴う排水設備設置戸数の増加などにより下水道使用料が 74,345 千円の増となったものの、他会計補助金が 39,303 千円、長期前受金戻入が 20,743 千円、雑収益が 16,649 千円減少したことなどによるものです。

一方、事業費用は、4,429,391 千円で前年度 4,420,016 千円に比べ、9,375 千円（0.2%）増加しました。これは、企業債の借入利率の減により、支払利息及び企業債取扱諸費が 29,443 千円の減の他、減価償却費が 14,259 千円、資産減耗費が 14,325 千円減少したものの、中部下水処理場維持管理業務委託の増などにより処理場費が 68,830 千円増加したことなどによるものです。

以上の結果、平成 28 年度の収支差引は 222,204 千円の純利益となりました。

2.3 平成 28 年度主な出来事

9 月

1 日～12 日 下水道週間

下水道普及促進のため広報活動を行いました。

- ・下水道普及促進啓発のぼりの掲示
- ・下水道普及促進啓発横断幕の歩道橋への掲示
- ・広報車両による下水道普及促進
- ・パネル展示（9/1～9/12）



7 日 排水設備普及促進功労表彰式

第 56 回「下水道の日」に併せ、下水道の普及促進に貢献した指定工事店の表彰を行いました。

（表彰対象業者）

- ・エコ・クリーン(株)
- ・(株)シンエツ・テクノ・エコロジー
- ・クリンビューINAXS



資料編



2.4.1.1 資料編(事業部編・下水道)



1 下水処理場

佐世保市には4つの下水処理場があります。下水処理場は、汚水进行处理し、河川、海（公共の水域又は海域）へ放流するための施設です。

名称	外観	処理能力	名称	外観	処理能力
中部下水処理場		65,400 m ³ /日 (事業計画数値)	針尾下水処理場		3,400 m ³ /日 (事業計画数値)
江迎浄化センター		1,200 m ³ /日 (現有能力数値)	西部下水処理場		5,200 m ³ /日 (現有能力数値)

2 中継ポンプ場

中継ポンプ場は下水をポンプ設備で圧送する施設です。ポンプ設備以外にも、ゴミを取り除く設備や臭気を除去する設備などを有しています。

名称	外観	送水能力	名称	外観	送水能力
平瀬ポンプ場 (中部処理区)		54,720 m ³ /日	大塔ポンプ場 (中部処理区)		13,133 m ³ /日
天神ポンプ場 (中部処理区)		3,888 m ³ /日	船越ポンプ場 (中部処理区)		3,283 m ³ /日
鹿子前ポンプ場 (中部処理区)		3,744 m ³ /日	立神ポンプ場 (中部処理区)		4,864 m ³ /日
長坂汚水中継ポンプ場 (江迎処理区)		1,872 m ³ /日	北平汚水中継ポンプ場 (江迎処理区)		1,440 m ³ /日



2.4.1.1 資料編(事業部編・下水道)



2 中継ポンプ場（続き）

名称	外観	送水能力
相浦ポンプ場 (西部処理区)		5,616 m ³ /日

2-2 中継ポンプ場（小規模ポンプ場）

① コンパクト型ポンプ場

ポンプ設備以外の機器を、最小限に減らした比較的小規模のポンプ場です。

処理区	名称
中部処理区	クレールの丘1号中継ポンプ場及びクレールの丘2号中継ポンプ場の2箇所
針尾処理区	中継ポンプ場4箇所

② マンホール形式ポンプ場

下水を送水するために必要なポンプ設備のみを持った、最も小規模なポンプ場です。

処理区	箇所数
中部処理区	4 4箇所
西部処理区	1 3箇所
江迎処理区	1 2箇所

下水道の整備で快適なくらし



生活環境の向上

河川の浄化





2.4.1.1 資料編(事業部編・下水道)



3 水洗化の普及促進

公共下水道が整備され、使用可能となった処理区域内では、遅滞なく公共下水道へ下水を排除するため、くみ取り便所を水洗便所に改造するなど、排水設備の設置が下水道法等によって義務付けられております。

本市においては、水洗化の促進を図るため、公共下水道の整備と同時に排水設備の設置を促すことはもとより、水洗化期限（公共下水道の整備から3年以内）の到来した未水洗家屋等に対し、戸別訪問による指導を行っているほか、下水道について市民の関心と理解を深めてもらうため、あらゆる機会を利用してPRを行う等、普及促進に努めております。

4 排水設備普及状況

区分 \ 年度			26年度	27年度	28年度
戸数	① 处理区域内戸数 (戸)	中部	62,574	63,817	64,025
		西部	4,306	4,927	5,396
		針尾	347	349	339
		江迎	1,539	1,534	1,578
		計(A)	68,766	70,627	71,338
	②水洗化戸数 (戸)	中部	57,742	58,743	59,347
		西部	2,671	3,125	4,202
		針尾	347	349	339
		江迎	1,100	1,170	1,209
		計(B)	61,860	63,387	65,097
人口	③行政区域内人口(人) (C)		258,132	256,504	254,180
	④ 处理区域内人口 (人)	中部	132,607	131,839	129,722
		西部	9,866	10,854	11,667
		針尾	620	601	585
		江迎	3,521	3,497	3,545
		計(D)	146,614	146,791	145,519
	⑤水洗化人口 (人)	中部	122,514	121,416	120,174
		西部	6,310	7,211	9,298
		針尾	620	601	585
		江迎	2,553	2,701	2,754
		計	131,997	131,929	132,811
⑥普及率(%) (D/C)			56.80	57.23	57.25
⑦水洗化率(%) (B/A)			89.96	89.75	91.25



2.4.1.2 資料編(事業部編・再生水)

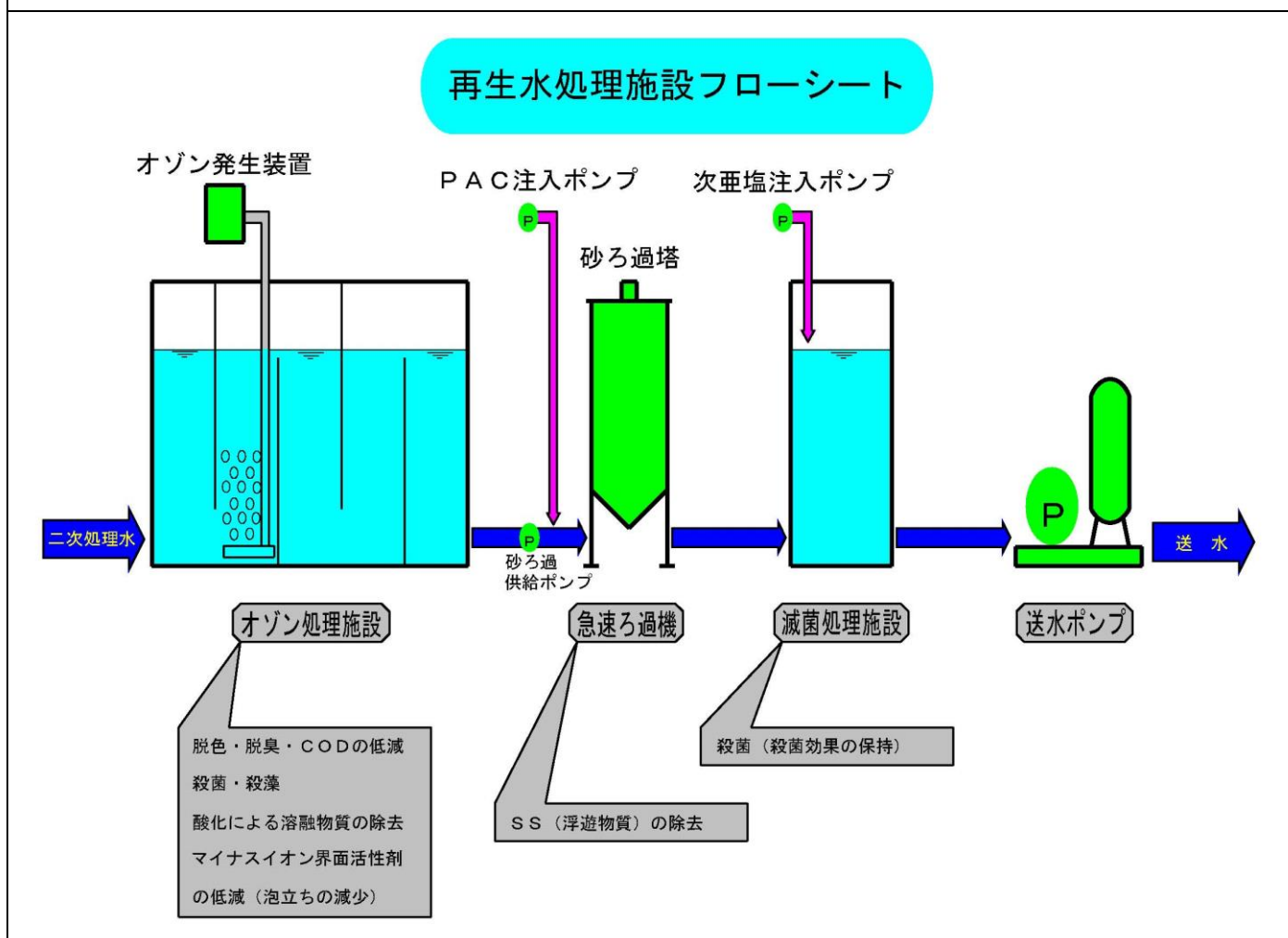


1 再生水の利用

循環型社会の形成という面から、下水処理水の再利用を促進し、再生水として水の有効利用を進めています。再生水は佐世保駅周辺やハウステンボス周辺に供給しています。

名称	外観	施設内部	処理能力
再生水処理施設 (中部下水処理場)			500 m ³ /日

(再生水処理施設 フローシート)



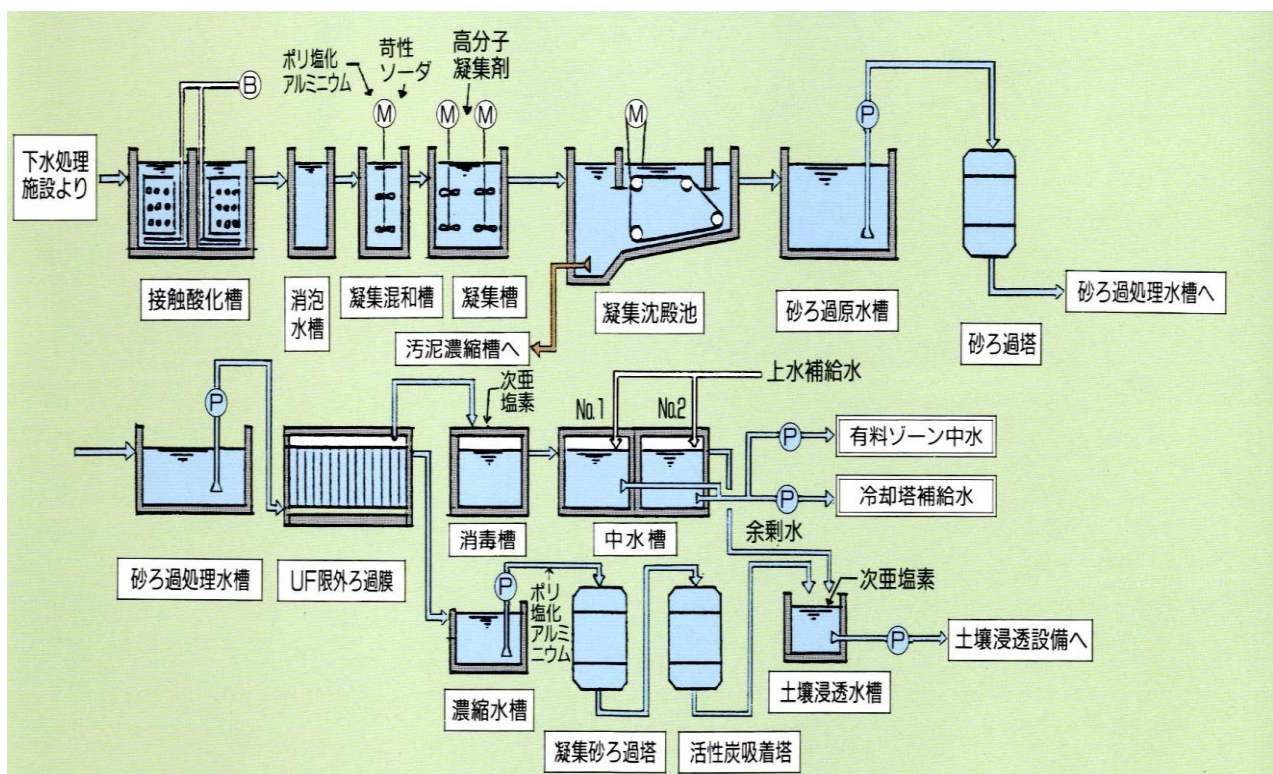


2.4.1.2 資料編(事業部編・再生水)



名称	外観	施設内部	処理能力
再生水処理施設 (針尾下水処理場)			3,400 m ³ /日

(再生水処理施設 フローシート)



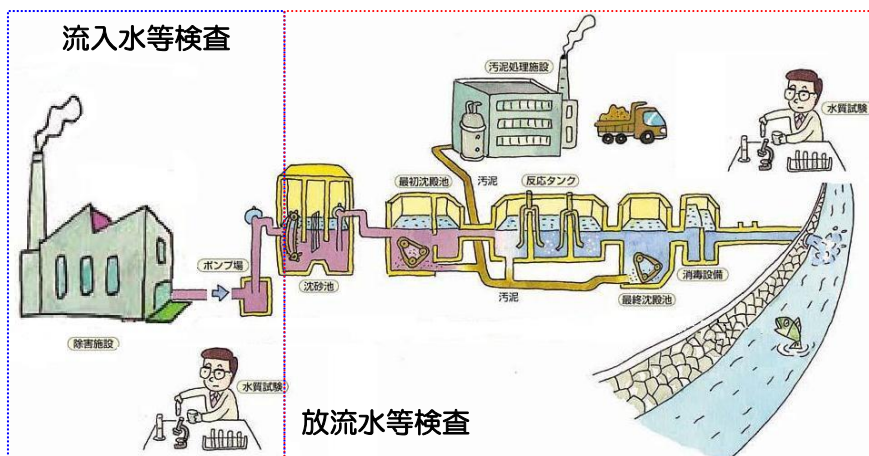


2.4.1.3 資料編(事業部編・水質)



水道局では、各家庭や事業所から排出された下水を、市内4か所の下水処理場で処理しています。

下水処理場への流入水と下水処理場から公共用水域への放流水、および下水処理工程を管理するために水質検査・汚泥検査をおこなっています。



流入水は微生物を利用した活性汚泥法により適切に処理しています。

放流水は法律で水質基準が定められており、定期的な検査を行って周辺環境の水質保全に努めています。

平成28年度 中部下水処理場放流水の水質検査実績（年間平均値）

項目	放流水	放流基準（単位）
pH（水素イオン濃度）	6.9	5.8～8.6
SS（浮遊物質）	3	40（mg/ℓ）
BOD（生物化学的酸素要求量）	3.2	15（mg/ℓ）
T-N 全窒素	17	60（mg/ℓ）（日間平均）
T-P 全りん	1.9	8（mg/ℓ）（日間平均）
大腸菌群数	100 未満	3,000（個／c m ³ ）

※上記表上の各項目はどれも水の汚れ具合を表すもので、pHを除いて、値が低いほど水がきれいであると言えます。

また、再生水についても佐世保市再生水事業実施要綱により水質基準が定められており、水質基準に適合しているか検査を行っています。



2.4.2.1 資料編(経営管理部編・使用料及び負担金)



1 (2か月料金)

※下記料金表により算出した額に別途消費税等を加算

種 別	基本使用料		超過使用料(1 m ³ につき)	
	基本排除汚水量	金 額	排除汚水量	金 額
一 般 汚 水	20 m ³ まで	1,856 円	20 m ³ を超え 40 m ³ まで	131 円
	ただし、 排除汚水量が 10 m ³ 以下の場合は、 1,426 円となります。		40 m ³ を超え 100 m ³ まで	160 円
			100 m ³ を超え 200 m ³ まで	202 円
			200 m ³ を超えるもの	227 円
公衆浴場汚水	1 m ³ につき			5 円

算出方法(例) 2 か月で 50 m³使用した場合(消費税込み)

$$\left(\underbrace{1,856 \text{ 円}}_{(20 \text{ m}^3 \text{ までの基本使用料})} + \underbrace{(20 \text{ m}^3 \times 131 \text{ 円}) + (10 \text{ m}^3 \times 160 \text{ 円})}_{(超過使用料)} \right) \times 1.08 = 6,562 \text{ 円}$$

(消費税の加算)

2 下水道事業受益者負担金制度

① 受益者負担金とは

衛生的で住みよい環境をつくるためには、公共下水道の整備を急がなければなりません。しかし、公共下水道を整備するためには、多くの建設資金と長い年月を要します。下水道施設は道路や公園のようにだれもが利用できるものではなく、限られた区域の人しか利用できません。

この下水道を、市民のみなさんからいただく税金だけでつくったのではまだ整

備されていない区域に住んでいる方々にとって、大変不公平になります。そこで、公共下水道の整備によってその利用を受ける区域の土地所有者などのみなさんに事業費の一部を負担していただき、下水道を一日も早く整備しようというのが受益者負担金の制度です。

本市では、昭和37年度までに下水道施設の整備が完了した102.08ha区域に対し、昭和38年度から下水道受益者負担金の賦課徴収を開始しました。

現在は、昭和47年10月佐世保都市計画下水道事業受益者負担に関する条例(47年条例第43号)に基づいて負担していただいております。





2.4.2.1 資料編(経営管理部編・使用料及び負担金)



② 負担金の額および実績

(江迎負担区以外)

負担区の負担金の総額＝当該負担区×受益者の土地面積

負担区 (主な地区)	1 m ² あたり 負担金	負担区 (主な地区)	1 m ² あたり 負担金
第1負担区 (旧市街地)	106 円	第5負担区 (もみじが丘・大塔地区)	460 円
第2負担区 (旧市街地の周辺地区)	161 円	第6負担区 (早岐・広田・船越地区)	465 円
第3負担区 (鹿子前地区)	310 円	第7負担区 (有福・相浦・日野地区)	465 円
第4負担区 (天神・黒髪・日宇地区)	400 円		

※負担金額の算定については、事業に要する経費を根拠としています。従って、負担金額は一律のものとして算定するのではなく、事業実施年度や地域の状況により、市内を幾つかの区域に分割し、それぞれの区域について負担金を決定するという方法をとっています。

(平成28年度賦課実績)

総 地 積	賦 課 地 積	調 定 額
319,743 m ²	289,546 m ²	114,343,470 円

(江迎負担区)

受益者が保管する市の水道メーター口径に応じ、下表に定める額

水道メーター口径	金額
20 ミリメートル以下	100,000 円
25 ミリメートル	174,000 円
30 ミリメートル	275,000 円
40 ミリメートル	565,000 円
50 ミリメートル	988,000 円
75 ミリメートル以上	2,723,000 円

(平成28年度賦課実績)

賦 課 件 数	調 定 額
253 件	1,875,000 円



2.4.2.2 資料編(経営管理部編・財政)



佐世保市下水道事業損益計算書（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）

当年度事業の経営成績を表したものが損益計算書です。経営成績とは、結果として一年間にどのくらい利益を出したのか、損失が生じたのかを表現しています。

下水道事業収益（営業収益＋営業外収益＋特別利益）－下水道事業費用（営業費用＋営業外費用＋特別損失）
＝利益（黒字）または 損失（赤字）

1	営業収益	円	円	円
	(1) 下水道使用料	2,083,624,532		
	(2) 雨水処理負担金	88,225,190		
	(3) その他営業収益	50,027,789	2,221,877,511	
2	営業費用	円	円	円
	(1) 管渠費	328,004,378		
	(2) ポンプ場費	107,774,576		
	(3) 処理場費	836,410,543		
	(4) 総係費	229,756,934		
	(5) 減価償却費	2,228,264,415		
	(6) 資産減耗費	7,966,479	3,738,177,325	
	営業損失			1,516,299,814
3	営業外収益	円	円	円
	(1) 受取利息及び配当金	90,819		
	(2) 他会計補助金	1,294,884,028		
	(3) 長期前受金戻入	1,043,804,292		
	(4) 雑収益	89,814,294	2,428,593,433	
4	営業外費用	円	円	円
	(1) 負担金徴収事務費	21,405,366		
	(2) 支払利息及び企業債取扱諸費	582,985,916		
	(3) 雑支出	86,029,832	690,421,114	1,738,172,319
	経常利益			221,872,505
5	特別利益	円	円	円
	(1) 過年度損益修正益	86,359		
	(2) 引当金戻入益	1,037,171	1,123,530	



2.4.2.2 資料編(経営管理部編・財政)



6	特別損失	円	円	円
	(1) 過年度損益修正損	792, 343	792, 343	331, 187
	(2) その他特別損失			222, 203, 692
	当年度純利益			0
	前年度繰越利益剰余金			239, 259, 840
	その他未処分利益剰余金変動額			461, 463, 532
	当年度未処分利益剰余金			331, 187



2.4.2.2 資料編(経営管理部編・財政)



佐世保市下水道事業損益計算書（平成26年度～平成28年度）

	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	金額（円）	構成 比率 （%）	金額（円）	構成 比率 （%）	金額（円）	構成 比率 （%）
下水道事業収益	4,928,897,014	100.0	4,659,276,134	100.0	4,651,594,474	100.0
営業収益	2,107,290,892	42.8	2,152,413,919	46.2	2,221,877,511	47.8
下水道使用料	1,975,626,431	40.1	2,009,279,548	43.1	2,083,624,532	44.8
雨水処理負担金	86,713,983	1.8	91,677,199	2.0	88,225,190	1.9
その他営業収益	44,950,478	0.9	51,457,172	1.1	50,027,789	1.1
営業外収益	2,528,558,220	51.3	2,505,388,404	53.8	2,428,593,433	52.2
受取利息及び配当金	354,676	0.0	191,448	0.0	90,819	0.0
他会計補助金	1,388,524,862	28.2	1,334,187,242	28.6	1,294,884,028	27.8
長期前受金戻入	1,052,220,680	21.3	1,064,546,640	22.9	1,043,804,292	22.5
雑収益	87,458,002	1.8	106,463,074	2.3	89,814,294	1.9
特別利益	293,047,902	5.9	1,473,811	0.0	1,123,530	0.0
下水道事業費用	4,916,668,467	100.0	4,420,016,294	100.0	4,429,390,782	100.0
営業費用	3,677,122,882	74.8	3,679,638,011	83.3	3,738,177,325	84.4
管渠費	493,474,883	10.0	304,036,839	6.9	328,004,378	7.4
ポンプ場費	79,967,656	1.6	118,492,988	2.7	107,774,576	2.4
処理場費	700,098,237	14.3	767,580,838	17.4	836,410,543	18.9
総係費	198,386,212	4.0	224,712,927	5.1	229,756,934	5.2
減価償却費	2,200,761,549	44.8	2,242,522,952	50.7	2,228,264,415	50.3
資産減耗費	4,434,345	0.1	22,291,467	0.5	7,966,479	0.2
営業外費用	745,116,080	15.1	739,941,250	16.7	690,421,114	15.6
負担金徴収事務費	26,264,391	0.5	24,692,666	0.6	21,405,366	0.5
支払利息及び企業債取扱諸費	633,014,868	12.9	612,429,728	13.8	582,985,916	13.2
雑支出	85,836,821	1.7	102,818,856	2.3	86,029,832	1.9
特別損失	494,429,505	10.1	437,033	0.0	792,343	0.0
当年度純利益（△純損失）	12,228,547		239,259,840		222,203,692	



2.4.2.2 資料編(経営管理部編・財政)



佐世保市下水道事業貸借対照表（平成29年3月31日）

事業の財政状態（資金の外部調達（負債・資本）と、調達した資金の投資・運用状況（資産））を表す表です。

資 産 の 部		
1 固定資産	円	円
（１）有形固定資産	70,369,479,955	
（２）無形固定資産	2,093,500	
固定資産合計		70,371,573,455
2 流動資産	円	円
（１）現金預金	3,739,985,189	
（２）未収金	175,323,017	
流動資産合計		3,915,308,206
資産合計（１＋２）		74,286,881,661
負 債 の 部		
3 固定負債		円
（１）企業債	28,454,548,781	
（２）他会計借入金	64,624,886	
（３）リース債務	71,641	
（４）引当金	270,591,490	
固定負債合計		28,789,836,798
4 流動負債		円
（１）企業債	1,640,750,930	
（２）リース債務	284,823	
（３）未払金	926,063,933	
（４）引当金	103,381,974	
（５）その他流動負債	6,302,201	
流動負債合計		2,676,783,861
5 繰延収益	円	円
（１）長期前受金	51,231,043,476	
収益化累計額	△21,437,369,618	
繰延収益合計		29,793,673,858
負債合計（３＋４＋５）		61,260,294,517



2.4.2.2 資料編(経営管理部編・財政)



資 本 の 部		
6 資本金	円	円
(1) 資本金	11,905,028,692	
資本金合計		11,905,028,692
7 剰余金	円	円
(1) 資本剰余金	660,094,920	
(2) 利益剰余金	461,463,532	
剰余金合計		1,121,558,452
資本合計 (6 + 7)		13,026,587,144
負債資本合計 (3 + 4 + 5 + 6 + 7)		74,286,881,661

資産合計 (74,286,881,661) = 負債資本合計 (74,286,881,661) となることからバランスシートといいます。



2.4.3 下水道事業業務実績



項目 \ 年度	2 6	2 7	2 8
人 口 (人)	258,132	256,504	254,180
全 体 計 画 面 積 (ha)	4,968.00	4,968.00	4,968.00
整 備 済 面 積 (ha)	3,021.34	3,070.91	3,107.66
面 整 備 率 (%)	60.8	61.8	62.6
普 及 率 (%)	56.8	57.2	57.3
処 理 区 域 内 戸 数 (戸)	68,766	70,627	71,338
水 洗 化 率 (%)	90.0	89.7	91.3
水 洗 化 戸 数 (戸)	61,860	63,387	65,097
有 収 排 水 量 (m ³)	13,332,685	13,531,106	13,985,493
汚 水 管 延 長 (m)	604,291	618,318	626,873
職 員 数 (人)	69	71	70
処 理 原 価 (円)	251.06	246.12	240.49
う ち 維 持 管 理 費 (円)	117.17	112.16	113.54
使 用 料 単 価 (円)	148.18	148.49	148.98
年 間 下 水 道 使 用 料 (千円)	1,975,626	2,009,280	2,083,625

【用語説明】本資料中（下水道）の用語の意味を記載しております。

用語	内 容
人 口	佐世保市内の住民基本台帳の人口。
全 体 計 画 面 積	将来の地域の状況に対応した長期的な下水道整備の実施計画面積。
整 備 済 面 積	排水区域+未供用箇所の管渠整備済み区域の面積。
面 整 備 率	全体計画面積のうち、整備済み面積の率。（未供用面積を含む。）
普 及 率	下水道が普及状況を示す指標のこと。人口に対する下水道を利用できる人口の割合のこと。下水道普及率・下水道処理人口普及率ともいう。
処 理 区 域 内 戸 数	供用開始（下水道法第9条第2項）の公示がなされている区域の戸数をいう。
水 洗 化 率	処理区域内戸数のうち、実際に水洗便所を設置して汚水を処理しているものの割合。
水 洗 化 戸 数	処理区域内戸数のうち、水洗化を完了している戸数のこと。
汚 水 管 延 長	汚水管渠の整備済み延長。（未供用管渠含み、事業計画区域外の管渠を含まない。）
排 水 区 域	公共下水道により下水を排除することができる地域で、第九条第一項の規定により公示された区域をいう。（下水道法第2条7号）
処 理 区 域	排水区域のうち排除された下水を終末処理場により処理することができる地域で、第九条第二項において準用する同条第一項の規定により公示された区域をいう。（下水道法第2条8号）

機構

3.1 機構図

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

	部	課及び準課	係
佐世保市水道事業及び下水道事業管理者	経営管理部	総務課	総務管理係
			職員係
		財務課	経理係
			調達係
		営業課	業務係
			料金係
			計量係
		水源対策・企画課	水源対策係
			企画係
	事業部	水道維持課	給水装置係
			維持第一係
			維持第二係
			東部管理係
		水道整備課	建設改良第一係
			建設改良第二係
		水道施設課	水道施設係
			水道設備係
			施設管理係
		(準) 基幹施設建設室	
		北部管理事務所	北部管理係
		(準) 宇久営業所	
		下水道事業課	下水道普及促進係
			下水道計画係
			下水道建設第一係
			下水道建設第二係
			下水道維持係
		下水道施設課	下水道施設係
		水質管理センター	水道水質係
			下水道水質係

3.2 事務分掌

課 名	主な業務内容
総務課	局内の庶務に関すること 条例、規程等及び議案に関すること 財産管理に関すること 広報及び広聴に関すること 職員の身分、服務、勤務条件その他人事に関すること 職員の給与及び福利厚生に関すること 労務管理の統一に関すること
財務課	水道事業及び下水道事業の財政計画に関すること 水道事業及び下水道事業の予算及び決算に関すること 水道事業及び下水道事業の企業債及び補助金に関すること 物品の購入及び工事等の契約に関すること 指定給水装置工事事業者及び下水道排水設備指定工事店に関すること
営業課	水道料金、下水道使用料等の納入通知書発行に関すること 収入金全般の調定及び収納に関すること 電子計算業務に関すること 給排水使用及び廃止に関する諸願届の受付及び処理に関すること 料金の精算及び開閉栓に関すること 水道料金等の未納金の督促及び滞納整理、給水の停止処分に関すること 使用水量の計量及び認定に関すること メーターの管理、取替え、試験及び調査に関すること
水源対策・企画課	水道事業の認可及び水道水源の確保対策に関すること 企画調整に関すること 上下水道ビジョンの推進の統括に関すること 水道の総合計画及び建設改良計画に関すること 開発行為に関すること
水道維持課	給水装置の工事に伴う審査、検査に関すること 給水装置の構造、材質及び施工方法に関すること 開発行為の給水に関すること 給水装置及び送・配水管の維持管理に関すること 漏水防止に関すること 公営簡易水道施設の維持管理に関すること

3.2 事務分掌

課 名	主な業務内容
水道整備課	送、配水管等の建設、改良及び移設工事の実施に係る計画、設計、施工、監督に関すること 管路情報に関すること 送、配水管等の改良及び移設工事の指導監督に関すること
水道施設課	取水、貯水、導水、浄水、送水及び配水施設の建設、改良工事の実施、維持管理に関すること 水道施設の電気設備に関すること 水運用に関すること
基幹施設建設室(準課)	基幹施設の建設、改良工事等の実施にかかる計画、設計、施工、監督に関すること
北部管理事務所	給水装置の工事に伴う審査、検査に関すること 給水装置等の構造、材質及び施工方法に関すること 漏水防止に関すること 配・給水管の維持管理及び高部揚水に関すること 水源池、取水場及び浄水場の維持管理に関すること 導水管及び送水管の維持管理に関すること
宇久営業所(準課)	水道施設の維持管理に関すること 水道料金その他の収入金の収納に関すること
下水道事業課	下水道事業受益者負担金の賦課、収納及び滞納整理に関すること 下水道の普及及び私道等の公共下水道設置要望の事務処理に関すること 下水道の事業計画及び国庫補助事業申請の統括に関すること 開発行為に伴う下水道施設の審査及び指導監督に関すること 下水道管渠施設の設計、施工監督に関すること 下水処理場及びポンプ場施設増改築の土木建築工事に関すること 下水道管渠等の維持管理に関すること 排水設備及び除害施設に関すること 井戸水等の下水道放流水量の認定に関すること
下水道施設課	国庫補助事業の申請に関すること 処理施設の増改築計画に関すること 処理施設の建設改良等の設計、施工監督に関すること 処理施設の維持管理に関すること
水質管理センター	水道の水質管理に関すること 水道の水質の保持、改善及び研究に関すること 原水の適正な維持に関すること 下水道の水質管理に関すること 下水道の水質の保持、改善及び研究に関すること 除害施設管理の指導に関すること